

附属生命医学研究所



共焦点レーザー走査型顕微鏡 FV3000

総合研究施設

総合研究施設は、附属生命医学研究所の共同利用研究部門として所属講座にかかわらず研究者が広く利用できる施設です。

セルソーター、質量分析器、電子顕微鏡、DNAシーケンサー、次世代シーケンサー、3Dプリンター、各種の蛍光顕微鏡など、最新の機器が揃っており、オープンラボ形式の臨床系総合研究施設も設置し、本学の研究活動を支える中心施設となっています。



SPECT/CT

アイソトープ実験施設

アイソトープ実験施設は、放射性同位元素を用いて研究するための共同実験施設です。

施設内には、液体シンチレーションカウンターやガンマカウンターなどの放射線測定器をはじめ、細胞や小動物に放射線照射をするためのガンマ線照射装置、最新のイメージング機器であるSPECT/CTやX線透視装置などが揃っており、基礎的な実験から小動物のイメージングまで幅広い実験が可能な環境です。



個別換気式ゲージによるマウス飼育管理

実験動物飼育共同施設

実験動物飼育共同施設は、社会的・科学的に適正な動物実験を保障するための環境を整備し、実験動物を飼育しています。

施設には、SPFおよびコンベンショナルな環境での各種動物の飼育室の他に、実験室、胚操作室、検疫室などを備え、研究者の動物実験をサポートしています。本学でも動物実験によって、再生医学・免疫学・神経科学・幹細胞生物学等の分野で数多くの画期的な成果が得られました。

関西医科大学 大学院医学研究科 修士課程

入学相談 随時受付

メールや電話でも
気軽にお問合せ下さい。

急速に進歩する医科学研究の
世界に飛び込んで、キャリアアップを目指そう！

進化する、
大学院。



令和6年度
修士課程
募集

一般入試 通常2年コース

社会人入試 通常2年コース・長期履修3年コース

	第一次募集	追加募集※
定員	8名	
出願資格審査書類 受付期間 <small>※出願に際し資格審査が必要な場合があります。</small>	令和5年 7月10日(月)～ 令和5年 7月21日(金)	令和5年10月10日(火)～ 令和5年10月20日(金)
願書受付期間	令和5年 7月10日(月)～ 令和5年 8月4日(金)	令和5年10月10日(火)～ 令和5年11月17日(金)
入学試験期日	令和5年 8月19日(土)	令和5年12月2日(土)

※第一次募集で定員に達した場合は追加募集を実施しません。
募集要項はホームページに掲載していますので、ご参照ください。 <https://www.kmu.ac.jp/juk/index.html>



関西医科大学 医学部事務部 大学院課
〒573-1010 大阪府枚方市新町二丁目5番1号
TEL 072-804-2305 (内線 2225)
E-mail gradumed@hirakata.kmu.ac.jp

医学・医療の分野で社会に貢献!

先端医科学分野 (薬理学講座) 中邨 智之 教授

「先端医科学」分野では、近年飛躍的な進歩を遂げる iPS・幹細胞医学や神経・免疫といった高次生命現象分野において、大学や企業の研究所での科学研究・医学研究を技術的にサポートする人材や、これら専門化する医学知識を一般社会に適切に還元できるだけの科学リテラシーを持った人材の育成を目指しています。もちろん、より深く研究を極めたい人には大学院博士課程に進んで医学博士になる道も開けています。様々な医学研究のテーマが揃っており、興味のあるものを選べるのもこの分野の特長です。



ゲノム医科学分野 (附属生命医学研究所ゲノム解析部門) 日笠 幸一郎 研究所教授

近年のゲノム解析技術の進歩により、ヒトゲノム情報が容易に得られるようになりました。我々のゲノム配列上には様々な変異が生じており、それらが疾患の発症や体質差、薬剤の感受性や副作用などに関わっていることが分かってきています。このような情報を活用することによって、疾患の発症予防や個人に最適な治療方針の選択に役立てることができます。ゲノム医科学分野にて最先端のゲノム解析技術や知識を修得し、ゲノム情報に基づく個別化医療の発展に資する研究に携わってみませんか。

医用工学分野 (数学教室) 北脇 知己 教授

「医用工学分野」では、生体計測工学・情報工学・ロボット工学等における先端的な知識と技術を臨床医学や健康科学などのニーズに結び付けることで、新しいヘルスケアを理解し医用工学技術を生活支援や生体再建など社会へ実践応用できる人材を育成します。

具体的には、運動・スポーツ医学、栄養学、心理学、行動科学、リハビリテーション医学、医用物理学など幅広い分野の研究を行うだけでなく、ヘルスケア領域における MBA 的要素として健康経営、マーケティング、イノベティブな思考や実践などの修得を目指します。



INTERVIEW

在学生インタビュー

ゲノム医科学分野 / 病理学
(令和4年度 入学)
第2学年 住田 亘



私は大学を卒業後、病理やがんの検査に関することをずっと学びたいという思いから関西医科大学大学院医学研究科修士課程に進学しました。現在は、臨床検査技師として病理部で働きながら、午後から大学院生として講義を受講しています。大学院では18時以降に講義を受けることができるため、仕事と学業を両立することができます。また、オンライン受講も可能で、柔軟な選択肢があるのも魅力です。多彩な講義内容に触れ、最新の医療技術や研究成果を学ぶことができ、非常に充実した日々を過ごしています。さらに、関西医科大学は近隣の大学院に比べて学費が安いことも魅力の一つです。大学院生活は忙しく濃密なものですが、研究室の先生との交流も楽しく、刺激的な日々を過ごしています。

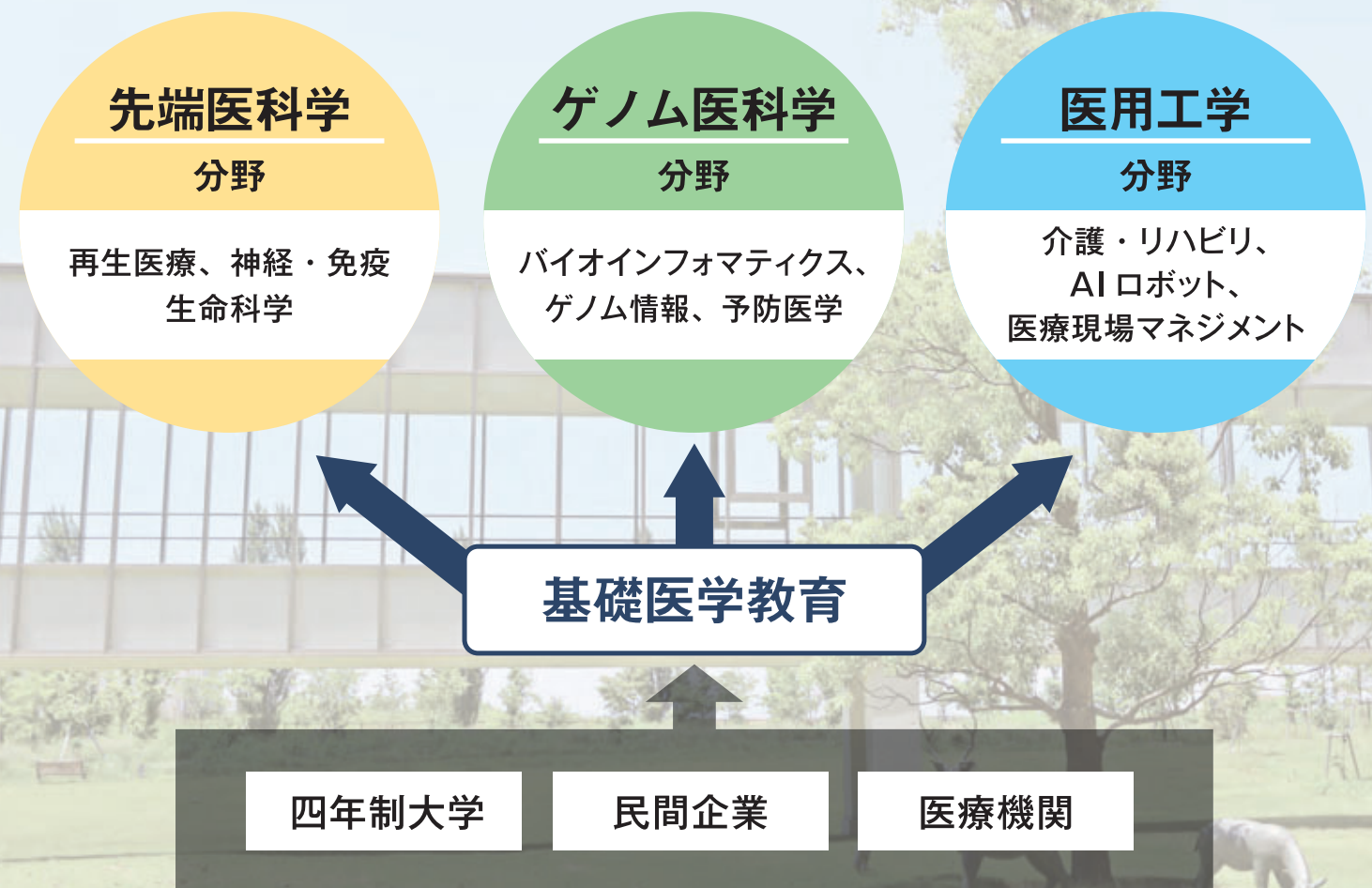
INTERVIEW

修了生インタビュー

医用工学分野 / 健康科学
(令和4年度 修士課程修了、
令和5年度 博士課程進学)
森井 裕太



私は理学療法士として13年間病院で働く中で、臨床経験を活かしたリハビリ研究を進めたいと考え、現職場に転職し関西医科大学の大学院修士課程に進みました。体組成をテーマに、職場でデータを取得、解析しながら臨床と研究を進めていきました。働きながらでしたが、18時以降の授業やゼミが中心でオンライン講義も多く、仕事との調整がしやすく働きながら学び、研究のできる環境にとっても満足しています。学費負担が少ないので、これからも継続した学習、研究活動が出来ると感じ、今年より博士課程に進学することにしました。今後も研究者と現場をつなぐ役割を意識し、現場に還元できる成果が得られるよう研究を進めていきます。



医学研究科では、多様なバックグラウンドを持つひとをサポートする体制が整っています。

授業料免除制度 成績上位の方は授業料が免除されます(収入の審査があります)。

社会人コース 各種医療機関、官公署・民間会社等に在職しながら学ぶことができます。

長期履修制度 標準修業年限は2年ですが、社会人等、研究時間に制限のある方は3年間で学位を取得することができます。授業料の合計は通常2年間のコースと同額です。

本学では、幅広い分野の最先端機器を揃えた共同研究施設と最新鋭の動物実験施設を備えている他、臨床研究支援センターも設置しています。附属病院にも直結していることで、基礎研究、臨床研究ともに進めやすい環境が整っています。

ハード面、ソフト面双方を充実させた大学院は、これからの医学研究・医療を支える人材を育成していきます。

学生納付金

● 入学金 200,000円

● 授業料(実習費込) 400,000円(年額)

● 学生教育研究災害傷害保険加入料(2年間) 1,750円

※長期履修制度を利用の場合は 初年度のみ280,000円(年額)、2年目以降260,000円(年額)。